

1. 評価結果概要表

作成日 平成19年11月20日

【評価実施概要】

事業所番号	3271900288		
法人名	医療法人社団水澄み会		
事業所名	グループホーム ゆうな		
所在地	島根県浜田市三隅町河内 469-1 (電話) 0855-32-4550		
評価機関名	NPOしまね介護ネット		
所在地	島根県松江市白潟本町43番地		
訪問調査日	平成19年11月7日	評価確定日	平成19年12月21日

【情報提供票より】 (19年11月7日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 14 年 9 月 4 日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	17 人	常勤14人, 非常勤2人, 常勤換算	16, 5人

(2) 建物概要

建物構造	木造 造り		
	1階建ての 1階部分		

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	30,000 円	その他の経費(月額)	12,500 円
敷金	有 (円) ○無		
保証金の有無(入居一時金含む)	有 (円) ○無	有りの場合償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 150 円
	または1日当たり 800 円		

(4) 利用者の概要 (10月1日現在)

利用者人数	18名	男性 1名	女性 17名
要介護1	2名	要介護2	7名
要介護3	3名	要介護4	5名
要介護5	1名	要支援2	
年齢	平均 83, 6歳	最低 75歳	最高 97歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	浜田医療センター、山根歯科医院
---------	-----------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

過疎化の進んだ地域の中でボランティアや地域の人との交流に努めながら、利用者の「できそうなこと」を模索し、個別なケアを目指しているホームである。開設来5年が経過し、利用者の重度化という課題を抱えながらも着実にサービスの質の向上が見られる。職員は利用者を受け止め、見つけ、家族と共に利用者の生活を支える努力をしている。ホーム内には3匹の猫が飼われていて利用者の生活を和やかにしている。

【重点項目への取組状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4) 「契約書などの文書類の見直し」は利用者の権利についても明示されよりわかりやすい内容に改善されている。「自立支援の充実」「記録の工夫」「事故防止策としての手すりの設置」などは継続して検討されている。
	今回の自己評価に対する取組み状況(関連項目:外部4) 昨年の状況と比べてどうだったか職員が意見を出し合い、それをリーダーや管理者がまとめて評価を行った。課題についてはできるところから改善を始めているが、年間をとおした計画的な取組みになっていない。
重点項目②	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取組み(関連項目:外部4, 5, 6) 利用者の状況や事故、苦情の報告、職員の研修の報告などを行っている。出席者からもホームの状況についての質問が出たり、互いに意見交換が行われているが、まだ討議内容が運営に反映されるまでには至っていない。
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8) 家族の訪問時や電話で積極的に意見を聞いたり、家族会で年2回アンケートを実施する中でだんだんに苦情や提言が出るようになった。意見はスタッフ会議で話し合いケアや運営に活かされている。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 祭りなどの地域行事に参加したり地域のグループ活動に参加している。定期的にボランティアの来訪があり一緒に茶話会や体操をしたり、地域の人が訪問するなど、地域との交流が増えてきている。

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「地域の中で人間としての尊厳を持って生きること」を応援するという、ホーム独自の理念を掲げている。	○	さらに職員全員で、地域密着型サービスとしての理念の見直しを検討しているので期待したい。
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	一人ひとりの職員は理念を理解しているが、職員全員で話し合ったり確認をしよう機会が少ない。	○	職員全員で理念の見直しをする中で理念の具体的なイメージを共有しあい、話し合いの時間を持ちながら実践に活かしていただきたい。
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	祭りなどの地域行事や、地域のグループ活動に参加している。ボランティアや地域の方の来訪もあり地域との交流が増えてきている。職員が地域の活動にボランティアとして出かけることもある。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	管理者や職員は評価の意義を理解し全員で意見を出し合い自己評価を行った。できることから改善に取り組んでいるが、年間をとおした計画的な取り組みになっていない。	○	2ユニット共通の課題や独自の課題を明確にしながら、計画的に改善に取り組むことが望まれる。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回開催し、利用者の状況や事故、苦情の報告、研修報告などを行っている。出席者からもホームの状況についての質問や意見が出され意見交換を行っている。	○	さらに、ホームの改善課題についても出席者から積極的に意見を引き出し、討議内容がサービスの向上につながることを期待したい。
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	日常的に担当者を訪ね便りを渡したり情報交換を行い交流に努めている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	毎月、担当の職員が利用者の生活の様子を手紙でわかりやすく伝えている。2ヶ月に1回は「ゆうな便り」を発行し、必要時には電話でやりとりをしている。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	「ご意見・ご要望承り書」を作成し、ちょっとしたことでも聞いたことを記入して職員全員で話し合いケアや運営に活かしている。年2回、家族会でアンケート調査をし意見をまとめている。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	法人と管理者はそれぞれの立場で協働していて、管理者は法人に対しグループホームの特質を伝え、法人もこの2年間は定期異動をしていない。	○	法人は、サービスの質の確保のために馴染みの職員による支援が行われるよう、さらに支援をしていただきたい。


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修の情報提供を積極的に行い、法人内外の研修に参加している。研修内容は全職員に報告し共有されている。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	法人内の勉強会や交流会、小規模ケア連絡会の研修などに参加しているが、職員が地域の同業者と交流する機会はない。	○	5月に浜田地区5事業所で地域密着系部会が発足した。現在は管理者が参加しているが、今後は職員も参加予定なので積極的に交流の機会を持っていただきたい。
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	事前に見学してもらったり説明をしてサービスを開始している。施設入所者については訪問しているが自宅を訪問したり体験入居などは行っていない。	○	さらに利用者の状態にあわせた柔軟な対応が望まれる。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は、利用者から月見の時のだんごの作り方を教わったり、「大変ねー」「風邪をひかんように」といたわってもらったりして互いに心を通わせあっている。	○	さらに、お互いに共感し合える場面作りを積極的に行っていただきたい。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者一人ひとりの生活歴を知り利用者の理解に努めている。表情やちょっとした言葉から思いを知る努力をしている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	担当職員が中心になって職員全員で意見を出し合い計画を立てている。家族参加のもと、利用者の思いを大切にしながら具体的な計画を立て日々のケアに活かしている事例がある。	○	さらに他の利用者についても、チーム全員が一緒になって利用者の生活を支えられるように、家族や関係者の参加のもとでの計画立案を望みたい。
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	3ヶ月に1回、評価・見直しを行っている。状態に変化がある場合は随時見直している。	○	さらに、状態に変化がない場合でも1ヶ月に1回は利用者の状態などを話し合い、計画内容を見直し確認しあうことが望まれる。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	医療連携加算をとり入院した場合も早期退院に努めている。外泊や通院の支援など、利用者の状態にあわせて支援している。	○	さらに、地域住民の希望に応えられるような支援についても検討をしていただきたい。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用者や家族の納得したかかりつけ医の受診が行われている。医師の理解もあり急変時にも指示をもらっている。健康診断も実施されるようになってきている。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	介護度の高い利用者の家族とは少しずつ話し合いを始めているが、ホームとしての方針や体制作りはこれからの課題になっている。	○	医師や関係機関とも話し合いを重ね、ホームとしての方針作りや全職員で方針を共有することが望まれる。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報取り扱いをしていない	排泄を促す時も他の利用者にわからないように耳元でささやいたり、失敗した時にもさりげなく見守るなど配慮している。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	基本的な日課はあるが、起床や睡眠、食事など、利用者の状態にあわせた支援をしている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者の力を活かし分担しながら食事の準備をしている。職員も一緒に食卓を囲み和やかな雰囲気がある。食後も一緒にテレビを見るなど、ゆったりと対応していて利用者も落ち着いていた。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	毎日声をかけながら希望に沿った支援をしている。入浴を嫌がる人に対しても、時間や周囲の状況、タイミングを見ながら声をかけ支援している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	野菜作り、草抜きなど声をかけて一緒に行ったり、書道、手作業など得意なことを楽しんでいる。食器などが片づけられたかどうか、自分の仕事として点検している人もいる。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	自分から希望を出す利用者は少ないが、職員が声をかけて散歩や買い物、畑、ドライブなどに出かけている。	○	外出を嫌がったり希望の表出のできない利用者に対しても、日常的に外気に触れる機会を増やし気分転換を図っていただきたい。
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	鍵をかけない自由な生活を支援している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	避難訓練を実施し、運営推進会議で地域の協力体制をお願いしている。備蓄や火災以外の災害に対する取り組みはまだ行われていない。	○	地震や風水害対策と備蓄の検討を望みたい。職員だけの訓練ではなく、地域住民や関係者の参加した訓練も実施していただきたい。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事や水分の摂取量は、特に注意の必要な人は把握し申し送りで共有している。食事内容については法人の栄養士のアドバイスを受けているが献立に活かされていない。	○	排泄の確認のできない利用者もいるので水分の摂取量の把握を十分行っていただきたい。10月から法人の給食委員会に職員が参加し、調理方法などを学んでいるので今後期待したい。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者が自由に過ごせるスペースがある。利用者と職員が一緒に作った飾り物や利用者の書などを飾り和やかな雰囲気作りをしているが、食堂は日当たりが悪く暗い印象を受ける。	○	物品の配置を工夫したり季節感のある環境作りをするなど、さらに配慮が望まれる。
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者の思いや状態にあわせた環境作りが行われている。転倒の危険のある利用者には職員が工夫して環境作りを試みているが、介護度の進んだ利用者の居室は物品が少ない。	○	介護度の進んだ利用者についてもさらに安心できる環境作りの工夫を望みたい。

※  は、重点項目。

※ WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。